

プロジェクト

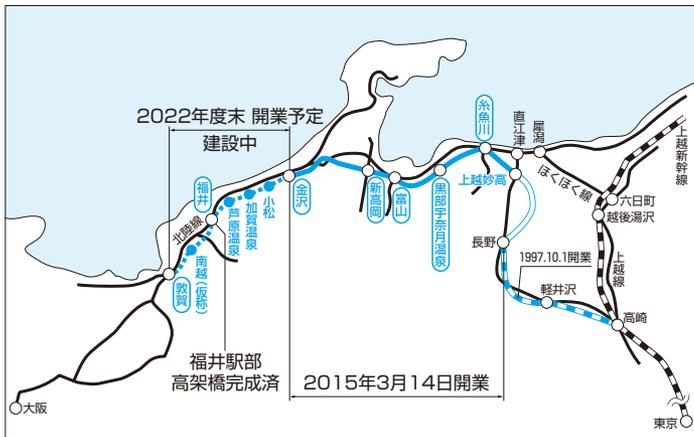
■北陸新幹線プロジェクト

北陸新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき、東京～大阪までの整備計画が定められている整備新幹線です。1997年10月1日に高崎から長野までの117kmが、そして2015年3月14日に長野から金沢までの228kmが開業しました(当社の営業区間は上越妙高から金沢間です)。

金沢から敦賀間の125km(工事区間：白山車両基地～敦賀間114km)については、2012年6月に用地・土木構造物関係の工事実施計画の認可が得られ、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設主体として2022年度末の完成をめざし、工事を進めています。

なお、開業後は当社が同区間を運営することになります。

●北陸新幹線の整備状況

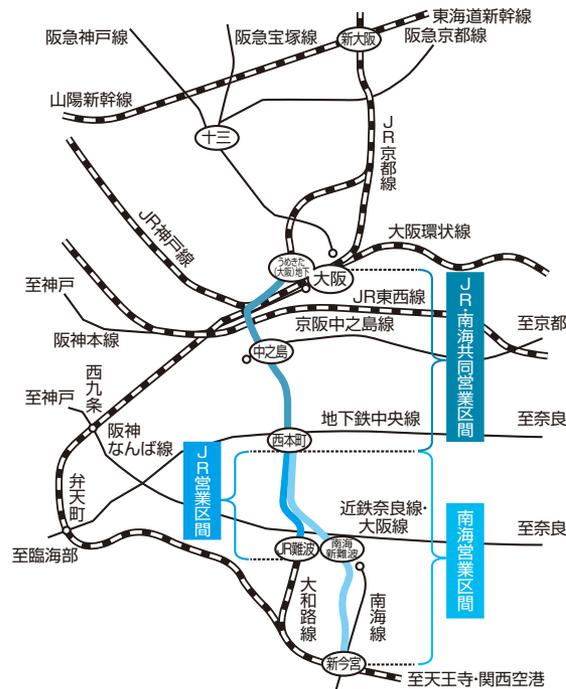


■近畿エリア関連プロジェクト

近畿エリアでは、安全・安定輸送や利便性の向上、線区価値の向上などを目的にプロジェクトを進めています。

●なにわ筋線

なにわ筋線は、うめきた(大阪)地下駅(2023年春に「大阪駅」として開業)と、JR難波駅および南海本線の新今宮駅をつなぐ新たな鉄道路線として関西高速鉄道が鉄道施設を整備・保有し、JR西日本および南海電鉄が鉄道施設を使用して旅客営業する計画です。なにわ筋線の整備により、関西国際空港や新大阪駅へのアクセス性の向上、鉄道ネットワークの強化、大阪の南北都市軸の強化などの効果が図られることになりそうです。2031年春開業に向け、関係者と協力し計画を進めています。



●大阪駅周辺プロジェクト

大阪駅周辺では、東海道線支線地下化・新駅設置事業やうめきた2期地区開発計画など、大阪駅西側地区を中心に、周辺地域との一体的なまちづくりが進められています。

JR西日本グループでは、西日本最大のターミナルである大阪駅が、将来にわたって大阪の玄関口として利便性が高く、賑わいのある拠点となるべく、2011年には大阪ステーションシティをグランドオープンし、2019年12月に大阪駅西側地区の開発に着手しました。



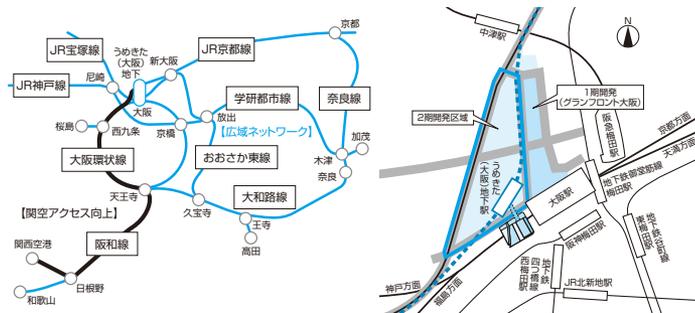
(1)東海道線支線地下化・新駅設置

大阪駅北地区のうめきたエリアでは、周辺地域との一体的なまちづくりが進められています。その西側を縦断している東海道線支線の梅田信号場(旧梅田貨物駅)では、まちづくりと一体となって約1.7kmの地下化工事が計画されています。地下化により、踏切の除却および交差道路の安全性向上が図られます。

あわせて、大阪駅に近接して新駅(うめきた(大阪)地下駅)を設置することで、梅田エリアから関西国際空港へのアクセスおよび広域ネットワークの強化に大きく貢献することが期待されています。

2023年春の地下化と新駅開業をめざして工事を進めています。

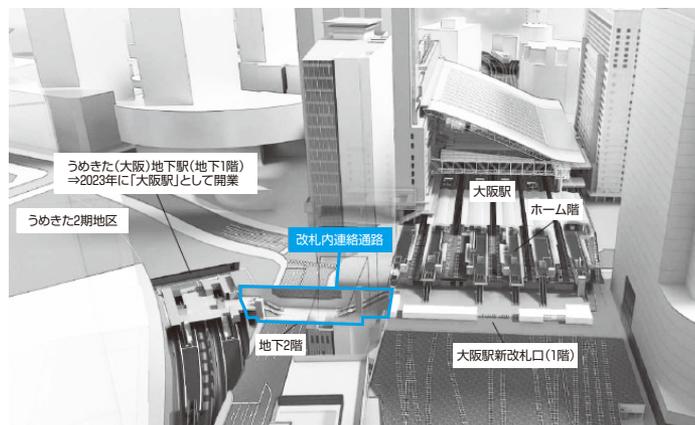
なお、東海道線支線地下化・新駅設置事業により整備する「うめきた(大阪)地下駅」と大阪駅西側に整備する「大阪駅新改札口」を地下でつなぎ、エレベーター・エスカレータを備えた改札内連絡通路を整備します。これにより、「うめきた(大阪)地下駅」は「大阪駅」として開業します。



(2)新改札口整備

大阪駅の混雑緩和、新たなバリアフリールート整備および西側地区へのアクセス性向上の観点から、各ホームにアクセス可能な新たな改札口を西側高架下に整備します。

新改札口周辺には、ご利用の多様なニーズに対応する商業ゾーンを展開し、快適で魅力あふれる駅空間を創出します。あわせて、同高架下にバスターミナルを新設し、大阪駅の交通結節機能のさらなる強化を図ります。



(3)新駅ビル開発

新改札口に隣接して、うめきた2期地区をはじめとした大阪駅西側地区の玄関口にふさわしい新たなビルを整備します。

(4)大阪駅西地区開発計画

日本郵便株式会社、株式会社JTBおよびJR西日本グループによる共同開発として、旧大阪中央郵便局敷地を含む大阪駅西地区を開発します。回遊性の高い歩行者ネットワークを整備することにより、JR大阪駅北側エリアなど、周辺との新たなつながりを形成するほか、西日本最大級のオフィスや、商業施設と劇場を設けることで、商業、文化のにぎわいのある街並みを形成します。

あわせて、バンケット施設も有するホテル機能を導入し、2025年の大阪・関西万博に向けてさらに高まる需要への対応を図ります。

●新駅設置

当社では、駅を核とした地域のまちづくりに寄与するとともに、お客様の利用しやすい輸送機関となるよう、新駅設置工事を進めています。



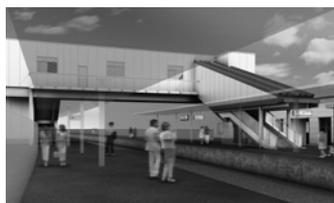
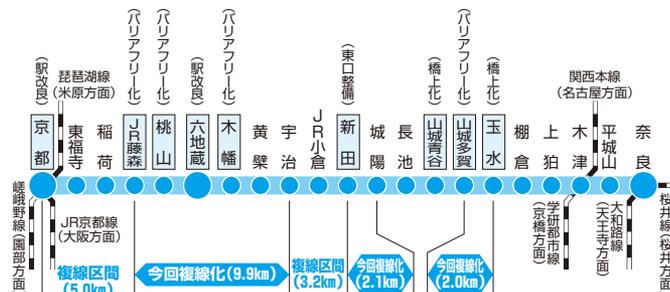
	線名	駅間	設備概要	開業予定
①	東海道線支線	新大阪 福島	地下駅舎島式ホーム2面	2023年春
②	大和路線	奈良 郡山	高架下駅舎相対式ホーム2面	未定

●奈良線第2期複線化事業

奈良線はこれまで1期複線化(京都～JR藤森、宇治～新田間)や新駅設置などの輸送改善により着実にご利用が増加してきましたが、単線区間の介在による定時性の確保などの課題も残されています。

2期複線化事業では、沿線自治体のご協力を得ながら、「JR藤森～宇治」、「新田～城陽」、「山城多賀～玉水」の計14.0kmの複線化を行います。今回の複線化で、ご利用者の多い「京都～城陽」間は全て複線となり、奈良線の更なる利便性向上、安全・安定輸送を実現できるものと考えています。

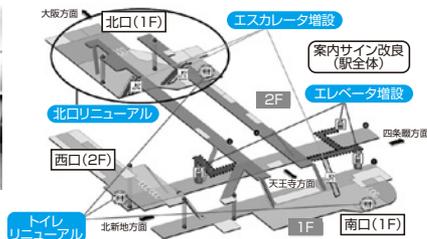
また、複線化事業にあわせて、駅ホームの安全性向上などを目的とした京都駅と六地蔵駅の駅改良や玉水駅の橋上化、山城多賀駅のバリアフリー化、踏切保安度向上のための3次元レーザーレーダ式障害物検知装置、踏切警報時間制御装置(通称:賢い踏切)の整備など、線区全体で安全性を高める取り組みも行っています。複線化事業は、2023年春の開業を予定しています。



桃山駅バリアフリー化外観

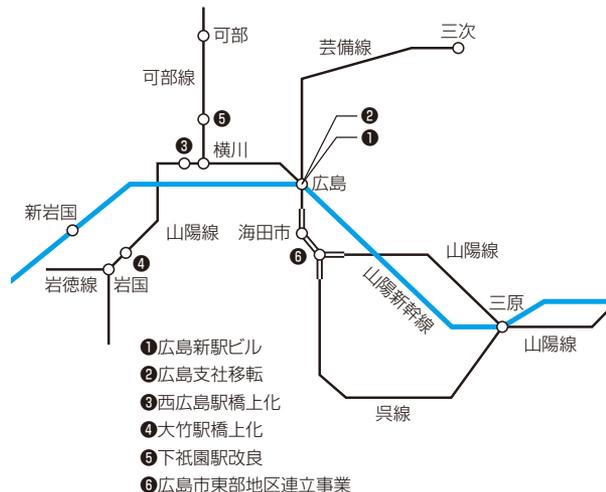
●京橋駅改良

京橋駅では、築35年を迎えた北口駅舎の商業施設やお客様トイレを含めた全体的なリニューアル、エレベータ・エスカレータの増設によって、お客様の利便性を向上させるべく、2017年8月から改良工事を進めています。



■広島エリア関連プロジェクト

広島エリアでは、まちづくりと一体となった橋上化や駅改良、また、広島駅周辺の拠点性向上を目的としたプロジェクトを行っています。



●広島新駅ビル

新駅ビルは、広島・瀬戸内の玄関にふさわしく、広島に新たな賑わいや交流、感動を創出する施設となることをめざし、商業・ホテル・駐車場を導入します。

特に、駅ビル2階の路面電車が進入する空間は、広島駅中央口改札や新幹線口改札から段差なくフラットに繋がり、駅と歩行者空間、商業施設が一体となった魅力的な空間を創出します。また、駅ビル1階に整備される駅前広場とも繋がり、ご利用しやすい公共交通ネットワークを形成します。

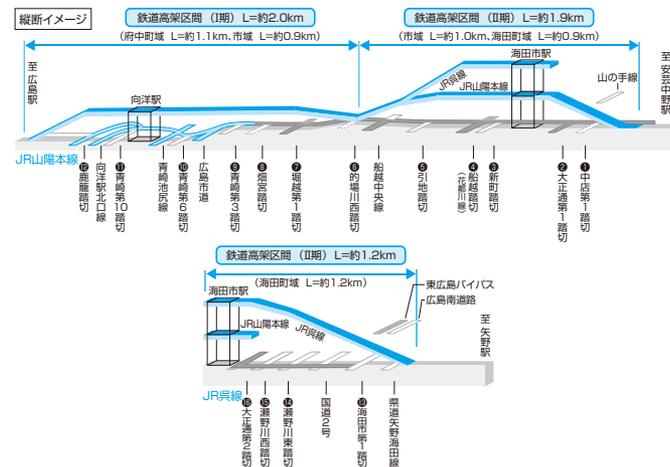


※パースはイメージであり、今後の設計および関係機関との協議により変更する場合があります。

●広島市東部地区連続立体交差事業

広島市東部地区連続立体交差事業は、広島都市圏東部地域の交通の円滑化や市街地分断の解消によるまちづくりを目的とし、広島県、広島市が行う都市計画事業です。

当社は、踏切除却による安全性向上、街の分断の解消によるまちづくりへの貢献等の観点から事業に寄与したいと考えています。



■大阪環状線改造プロジェクト

当社グループでは、大阪環状線のイメージアップとお客様満足度向上を図るため、「安全快適な駅づくり(駅美装・改良)」「駅構内および高架下の開発・リニューアル」「車両新製」「地域や他交通事業者との連携」を4つの重点施策とし、さまざまな施策を展開しています。大阪環状線を「行ってみたい」「乗ってみたい」線区に改造し、地域とともに、大阪を元気にします。



大阪環状線改造プロジェクト

●安全快適な駅づくり(駅美装・改良)

大阪環状線全駅の美装・改良を進めています(内容は駅ごとに異なります)。

森ノ宮駅・桃谷駅・玉造駅に続き、京橋駅も駅全体のリニューアル工事を進めています。



玉造駅

●トイレ改良

駅美装・改良の中でもトイレ改良を重点項目と位置づけ、集中改良を進めています(2020年8月末時点で18駅23箇所改良済)。改良にあたっては、「暗い・臭い・汚い」の解消を基本とし、社会環境の変化もふまえた快適なトイレ空間をめざしています。



リニューアルした多目的トイレ

●駅構内および高架下の開発・リニューアル

大阪環状線の駅構内や高架下などの魅力向上をめざして、駅美装・改良に合わせ、駅やエリアごとの特性、お客様ニーズを捉えた商業開発を推進しています。

森ノ宮・玉造・桃谷・野田駅高架下の複合商業施設「ピエラ」に加え、玉造駅構内にフードコート「たまぞうキッチン」、福島駅から西側の高架下周辺に阪神電気鉄道との共同開発で「ふくまる通り57」を開業するなど、新たなまちの賑わい創出に取り組んでいます。



福島駅西側の「ふくまる通り57」

●新型車両投入にあわせた駅ホーム空間の安全性・快適性向上

安全性とサービス水準を高めた、大阪環状線・JRゆめ咲線初の専用新型車両「323系」全22編成の投入が2019年6月に完了し、同線区の営業列車がすべて3扉車両となりました。

乗車位置統一を契機として、足元乗車位置案内をわかりやすくリニューアルするなど、ホーム上の混雑緩和を図るとともに、一部駅のホーム柵整備を推進し、ホームの安全性をさらに高めてまいります。



323系とホーム柵

●地域や他交通事業者との連携

沿線地域も含め、線区として価値を向上するため、大阪市・区や大阪環状線と結節する他交通事業者とも連携を強化しています。

●他交通事業者との連携

Osaka Metroと連携して案内表示を分かりやすく改善します。また、大規模災害などの異常時対応においても、連携を強化していきます。

※その他の鉄道事業者とも、案内表示の連携などを検討していきます。

●まちの美観促進・魅力発信

地域の皆様と連携し、沿線地域の一部となっている高架下などの鉄道施設の美化によるまちの美観促進に取り組んでいます。



Osaka Metroとの案内連携

●発車メロディ

大阪環状線では、お客様や地域の皆様に大阪環状線やその沿線のまちに愛着を感じていただけるよう、「その駅(まち)らしさ」「大阪環状線らしさ」「大阪らしさ」をテーマに、駅毎に異なる発車メロディを採用しています。

(敬称略)

大阪駅	やっば好きやねん/やしきたかじん	天満駅	花火/aiko
福島駅	夢想花/円広志	桜ノ宮駅	さくらんぼ/大塚 愛
野田駅	一週間/ロシア民謡	京橋駅	ゆかいな牧場(大阪うまいもの歌)/アメリカ民謡
西九条駅	アメリカン/バトル/アメリカ民謡	大阪城公園駅	法螺貝/オリジナル
弁天町駅	線路は続くよどこまでも/アメリカ民謡	森ノ宮駅	森のくまさん/アメリカ民謡
大正駅	ていんさくぬ花/沖縄民謡	玉造駅	メリーさんのひつじ/アメリカ民謡
芦原橋駅	祭/芦原橋太鼓集団「怒」作曲	鶴橋駅	ヨーデル食べ放題/桂雀三郎withまんぶくプラザーズ
今宮駅	大黒様/文部省唱歌	桃谷駅	酒と泪と男と女/河島 英五
新今宮駅	交響曲第9番「新世界より」/ドヴォルザーク作曲	寺田町駅	Life Goes On/韻シスト
天王寺駅	あの鐘を鳴らすのはあなた/和田 アキ子		

■ TWILIGHT EXPRESS 瑞風 みずかぜ

京都や松江、出雲、宮島等の豊かな歴史・文化。日本海や大山、瀬戸内海の多島美等の美しい自然。西日本には、日本の原風景とも呼べる場所がたくさんあります。ホテルのような上質さと心休まる懐かしさを感じる列車で、この国の素晴らしさを再発見していただく。美しい車窓の眺め、一流の食の匠による料理、洗練された車両、そして沿線の魅力…。TWILIGHT EXPRESS 瑞風は、ここでしか味わえない特別な列車の旅をご提供いたします。

(ウェブサイト) <https://twilightexpress-mizukaze.jp/>



●ネーミングとロゴマーク

「瑞風」とはみずみずしい風のことであり、吉兆を表すめでたい風という意味も併せ持ちます。「瑞穂の国」と呼ばれる美しい日本に、新しいトワイライトエクスプレスという風が幸せを運んでくる、そんな情景をイメージしました。

ロゴマークは、MIZUKAZEの“M”を山並みに見立て、吹き抜けていく風をトワイライトエクスプレスの象徴である天使で表現しました。



●車両

●編成

ザ・スイート1両、ロイヤルツイン(ユニバーサル対応)・ロイヤルシングル1両、ロイヤルツイン4両、食堂車1両、ラウンジカー1両、展望車2両(編成両端)からなる10両編成です。



●動力方式

ハイブリッド方式(ディーゼル発電機で発電した電力とバッテリーアシストによるモータ駆動)です。

●客室

3タイプの客室(ザ・スイート、ロイヤルツイン、ロイヤルシングル)を設け、定員は最大28名です。

●展望車

空まで望むことができる開放的な展望室から雄大な景色や星空といった車窓をお楽しみいただけるとともに、展望デッキでは沿線の風を感じていただけます。



展望デッキを含むエクステリア

●世界有数の客室

世界的にも希少なザ・スイートの客室は1両1室の広いスペースで、エントランスやプライベートバルコニー、リビング・ダイニング、寝室、バスタブ付きの本格的なバスルームを設置しています。

●建築、工業デザイン、食の第一人者が監修

京都迎賓館をはじめホテルや迎賓施設等の設計に携わってきた「浦一也」氏、新幹線をはじめ鉄道車両のデザインを手がけてきた「福田哲夫」氏や、食の權威で和洋を問わず食に造詣が深い「門上武司」氏に監修していただきました。

●運行開始 2017年6月17日(土)

●日程

1泊2日の片道タイプと2泊3日の周遊タイプをご用意し、1日1回立ち寄り観光を実施します。

●始発・終着駅 ※2021年2月17日から運行再開予定です。

大阪・新大阪、下関の各駅から始まり、下関、新大阪・大阪に至ります。

●運行ルート・コース ※状況により、変更する場合があります。

山陰本線経由と山陽本線経由、計5コース

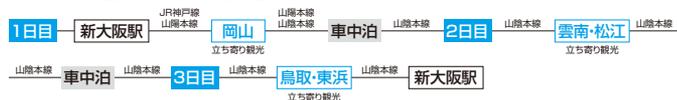
●山陰コース 1泊2日 片道タイプ



●山陽コース 1泊2日 片道タイプ



●山陽・山陰コース 2泊3日 周遊タイプ



■せとうちパレットプロジェクト

鉄道事業と創造事業が連携し、地域の皆様と一体となって新たな魅力を生み出す「せとうちパレットプロジェクト」を展開します。

西日本エリアの活性化が当社グループの長期持続的な成長につながるとの認識のもと、地域の皆様とともに、鉄道の広域ネットワークや安全で高品質な輸送サービスと当社グループが持つさまざまなコンテンツを活かした広域的な観光地づくり、地域ビジネスの創造・育成を通じて、交流人口や沿線の定住人口の拡大に取り組みます。

●基盤となる広域周遊ルートの構成

- 鉄道とクルーズ船を組み合わせた周遊ルート構築や新規航路の開発をめざします。
- 観光結節点となる駅の整備を推進します。
- 山陽新幹線の利便性や魅力を向上します。
- 新幹線拠点駅と観光地を結ぶ観光列車「etSETOra」や「WEST EXPRESS 銀河」を運行します。

●集客力のあるコンテンツの整備

- 地域ならではの食や土産物の魅力を活かして、拠点駅を開発します。
- 国内外からのお客様の多様なニーズに対応し、新しい形態の魅力ある宿泊施設を展開します。
- 地域の魅力ある商材を開発し、販路を開拓します。
- 地域のイベントや素材に新たな視点を組み合わせたコンテンツを整備し、広く情報発信します。



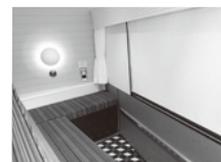
■WEST EXPRESS 銀河



「JR西日本グループ中期経営計画2022」において、鉄道事業の事業戦略として、地域との対話と連携を通じ、観光を中心として西日本エリアの活性化に貢献することを掲げています。その取り組みの一環として2020年9月から運行を開始した列車が「WEST EXPRESS 銀河」です。「多様性」「カジュアル」「くつろぎ」をキーワードに、1両ごとに異なるタイプの座席、シンプルながらも快適な車内空間、鉄道ならではの旅の魅力が感じられる車窓、思い思いにお過ごしいただけるフリースペース等を設置。西日本の魅力的な地域とお客様とを結ぶ列車になることをめざします。



ノニニ座席「クシェット」



グリーン個室「プレミアムルーム」



フリースペース「遊星」